

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

事業所名 夢門塾ゆうゆう相生

公表日 2026年 1月

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	利用定員や子どもの特性に応じて活動スペースを調整している。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	利用状況に応じて柔軟に職員配置をしている。	児童の状態や、個別対応の必要な児が複数いるときには手が足りないと感じることがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	障害特性に応じて視覚支援（絵カードでのスケジュール提示など）や環境調整を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	利用後は、多目的室・トイレ・玄関の清掃を毎日行っています。また、掲示物等を工夫し、楽しい空間になるよう心がけています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	必要に応じて公文室や学習室を使用し、個別に過ごせる場所を提供している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	半年ごとに面談を実施している。意見を聞いてもらっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎年年末に実施をしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	日々の朝礼やミーティングで意見を共有しています。また、支援終了後に気づいた点についても報告できる体制となっています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	評価の結果を受けて、職員間で共有し支援や業務の見直しをしている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	各月1回実施しています。また、社内研修の機会も多く設けています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	各職員が見れるようにファイリングしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	各児童について、半年に1回モニタリングを行い、計画の見直しをしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	職員間でカンファレンスを行い、共通理解ができるようにしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	必要に応じて口頭や会議での共有をし、いつでも見れるように個別にファイリングをして支援にあたっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	日常の行動観察や記録を活用し、必要に応じて職員間で共有しながら支援に繋げています。	時間が限られており、目を通す機会が少ない。見てもらうことが難しいときには直接口頭にて説明をするようにする。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	ガイドラインを意識しながら、支援項目を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	月に一回職員で相談して決めています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	活動（外出先）が偏ったり固定化したりしないよう、過去の予定を確認するとともに、新しい行き先の検討も行うようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	利用者の特性やその日の様子に応じて、個別支援と集団支援を組み合わせ、無理のない支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	支援前（朝礼時）に打ち合わせを行い、役割分担をしています。	非常勤の職員に対して、送迎に出ているなどで共有のしにくさがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	支援後に振り返りを行い、当日に難しい場合は翌日に実施しています。	反省時に非常勤の方は退勤されているため、共有の抜けがないようにしていく必要がある。（帰られる前に気付いた点などを聞くなど）
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援後にその日の記録を行い、必要に応じて対応した職員が追記しています。	報告が抜けてしまうことがあるため、その日のうちに伝えるように気を付けていく。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的なモニタリングを行い、計画の見直しをしています。		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	ガイドラインに則って、活動計画を作成しています。		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	基本的な流れの中で、選択の場面を設けるなどして対応しています。		
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	主に児童発達管理責任者が参加していますが、必要に応じてその他の職員も参加しています。		
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要に応じて、関係機関と情報共有を行っています。		

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	下校時間に間に合わないときには細やかに連絡をするようにしている。また、事前に分かっている時には保護者様より伝達をお願いしています。	下校予定が分かった際に連絡をお願いしているが、情報がなく時間が違っていた利することもあるため、必要に応じて直接学校側とのやりとりをしていく必要があると思う。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	次年度に放課後等デイサービスを利用予定の児童については、児童発達支援から情報を共有しています。また、体験週を設け、実際に関わる機会も作っています。		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	卒業後の事業所に対して、担当者会議などを通じて情報提供を行っています。		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		現在、そのような研修の機会がなく情報収集等をしていく必要がある。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		地域活動への参加（時間帯等）が難しく、また他の子供との交流の場を持つことが現実的に難しい。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2		今年度参加ができなかった為、次年度積極的に参加をしていく。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	モニタリングだけでなく、送迎時等でその時の様子についてお話をし共通理解へと繋げています。		
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	相談があった際には、必要に応じて適宜情報提供を行っています。	保護者会の開催はしているが、研修機会は作れていない。都度相談事があった時には個別に対応している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時には、内容を丁寧に説明しています。		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	作成前には、利用者や保護者からの聞き取りをしっかりと実施しています。		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	作成後には、再度内容を説明し、署名をいただいています。		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	モニタリングだけでなく、送迎時等に必要に応じてお話を聞く場面を設けています。		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	0	児童発達と合同で開催し、交流の場を設けています。		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	問題が発生した際には、すぐに管理者から連絡を行い、迅速に対応するようにしています。		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	夢通信・ゆめだより・ブログを通して発信しています。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		各家庭に合わせ、伝わりやすい工夫をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	招待することはありませんが、かがし祭りへの出展など、地域の行事に参加の機軸は設けています。	地域の人を招待することが現実的に難しい。	
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各種マニュアルを整備し、避難訓練を年に2回開催しています。	
		47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	避難訓練を定期的に開催しています。	
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	契約時に確認をしています。		
49		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	契約時に確認した内容に沿って対応しています。また、調理実習の際には、改めてアレルギーの有無を確認するようにしています。		
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成しています。	月に一回点検をおこなう。年に一回見直しを行う。	
51		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	契約時に説明を行い、また問い合わせがあった際にも対応して伝えるようにしています。		
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	発生時に記載し、共有するようにしています。	意識していないとかがくことが抜けてしまうため、習慣化していく必要がある。	
53		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	年に1回研修を実施しています。		
54		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	職員間で共有をし、必要とする児童については保護者様に説明をして同意を得るようにしています。		
保護者様評価、自己評価についてまとめ							
<p>・送迎によく伺ったりする職員（主に正社員）については保護者との面識ができるが、非常勤の職員など普段あまり関わりがない人については運動会や保護者会などで顔と名前を覚えてもらう必要性があったと感じた。</p> <p>・合同運動会など、子どもたちの取り組みの様子を見る事はかなり好評の意見が多く見られたため定期的な開催を計画していきたい。</p>							